

(令和6年4月分)

種 類	市況の概況
(水産物部の動向)	
水産物全般	<p>4月は生鮮魚の順調な水揚げにより、総入荷量は前年同月比で9%上回り、総取扱金額は前年同月比並で6%上回った。</p> <p>5月はいさきが旬を迎え、甘みのある脂がのった柔らかい身を味わうことができます。特に皮目が美味しい魚なので、皮ごと炙って食べる「焼き霜造り」がおすすめ。</p>
鮮 魚	<p>鮮魚の入荷量は前年同月比で18%上回り、単価は6%下回った。</p> <p>品目別には、かつお、よこわの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。ぶり、もんこういかの入荷量は前年同月を下回り、単価も下回った。</p>
冷 凍 魚	<p>冷凍魚の入荷量は前年同月比で6%下回り、単価は16%上回った。</p> <p>品目別には、冷あかうお、冷あかえびの入荷量は前年同月を下回り、単価は前年同月を上回った。冷かつおの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。</p>
加 工 水 産 物	<p>加工水産物の入荷量は前年同月並みで、単価は4%下回った。品目別には、開干あじの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。塩紅さけの入荷量は前年同月を上回り、単価は前年同月を下回った。</p>

※ 鮮魚には、貝類、淡水魚を含む。

主要品目	市況の概要
(鮮 魚)	
ま あ じ	佐賀、長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で6%下回り、単価は15%上回った。
さ ば	長崎、京都で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で56%上回り、単価は5%下回った。
び ん ち ょ う	鹿児島で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で9%下回り、類似品目のよこわの入荷量の増加による値下がりが影響し、単価は5%下回った。
さ わ ら	大阪、鳥取で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で3%上回り、単価は5%下回った。
まだい（天然）	兵庫、愛媛で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で40%上回り、単価は21%下回った。
あ さ り	北海道、中国で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で13%下回り、単価は17%上回った。
太 物	総入荷量は前年同月比で19%上回り、単価は前年同月並みであった。

※ 太物：まぐろ、きはだ、めばち

主要品目	市況の概要
(冷凍魚)	
冷 さ け	入荷量は前年同月比で9%上回り、単価は5%下回った。
冷 さ ば	入荷量は前年同月比で33%上回り、円安により輸入物原料とする製品が値上がりしたことから、単価は15%上回った。
(加工水産物)	
ち り め ん	入荷量は前年同月比で4%下回り、需要の減少により単価は33%下回った。
干 か れ い	入荷量は前年同月比で39%下回り、単価は前年同月並みであった。